

かねざわ 第94号

2025 年（令和 7 年）11 月

(P-2) 2026 年度の会員継続受付のお知らせ

目次

運営委員会からのお知らせ

- 2 2026 年度の会員継続受付のお知らせ

学習会記録

- 3 第3回学習会
『鎌倉幕府の滅亡と金沢北条氏』
8 第4回学習会
『国宝に見る菓と食べ物』
13 第5回学習会
『中世の民衆と生業』

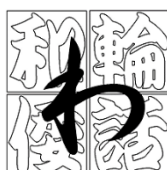
分科会からの便り（活動記録）

- 19 「寺社を巡る会」
25 「古文書を読む会」
26 「ふれあいの道歩こう会」
28 「懐かしの映画を観る会」
34 「浮雲俳句会」
41 「パソコンを使いこなす会」

行事予定

- 44 2025 年 12 月～2026 年 2 月の予定

【お願い】 会員の皆さまの寄稿をお待ちしています



金沢区生涯学習“わ”の会

ホームページ：<http://Kanazawa-wanokai.in.coocan.jp/>

メール：asahina5rou@gmail.com

運営委員会からのお知らせ

金沢区生涯学習“わ”の会 2026年度の会員継続受付のお知らせ

1. 会員継続の申込受付

2026年度の“わ”の会への入会は、例年通り現会員を優先いたします。現会員の継続受付は、11月の学習会から開始し、来年2月の公開歴史講座まで受け付けます。継続を希望される場合は領収書・申込書に必要事項をご記入のうえ、年会費3,000円を添えてお申込下さい。また、継続ご希望で、学習会での手続きが出来なかった場合は、2月28日(土)までに下記(2)の銀行口座へ会費3,000円をお振込下さい。なお、2026年2月28日をもって、会員の優先申込を締切らせて頂きます。

- | | | |
|-----|------------|--|
| (1) | 学習会で申込の場合 | 申込書にて申込下さい (11月の学習会、2月の公開歴史講座) |
| (2) | 銀行振込で申込の場合 | 振込先
横浜銀行 金沢支店 (店番号 351) 普通預金口座番号 1324219
名義人 金沢区生涯学習わの会 代表 鶴岡 重典 (ツルオカ シゲノリ) |

2. 2026年度の学習会計画

学習会ごとの皆様からのアンケートなどを参考に、下表のような2026年度の学習会計画を作成しました。講師・会場・テーマにつきましては、一部変更の可能性のあるものもございます。それらにつきましては確定次第、会報やホームページでお知らせいたします。

回	開催日		テーマ	講師	会場
1	5/9 (土)	9:30~ 10:30	総会	運営委員会	能見台地区センター
		10:45~ 12:00	江戸城石垣の故郷	“わ”の会会員 三瓶 裕司 氏	能見台地区センター
2	6/20(土)		調整中	横浜市歴史博物館 館長 佐藤 信 氏	金沢地区センター
3	7/11(土)午後		鎌倉公方足利持氏と 永享の乱	千葉大学 名誉教授 佐藤 博信 氏	金沢地区センター
4	8/21(金)		金沢文庫展示関連 (詳細未定)	県立金沢文庫学芸員	県立金沢文庫
5	9/13(日)午後		鎌倉の歩み —鎌倉時代以後—	青山学院大学 文学部史学科 准教授 谷口 雄太 氏	金沢地区センター
6	10/9 (金)		[探訪] 釜利谷地区	探訪実行委員会	
7	11/14(土)		小田原北条氏の領域支配 —小机・江戸・津久井・ 滝山・鉢形・松山—	元横浜商科大学 講師 伊藤 拓也 氏	能見台地区センター
8	公開歴史講座 2027年 2月13日(土)		『駿牛絵詞』を巡る牛と 人との再発見	NPO 法人鎌倉考古学研究所 理事 伊藤 一美 氏	能見台地区センター

2025 年度 第 3 回学習会

『 鎌倉幕府の滅亡と金沢北条氏 』

編集委員 橘 博章

開催日： 2025 年 7 月 12 日（土）
13:30～16:30

会 場： 能見台地区センター

講 師： 中世内乱研究会 総裁 細川 重男 氏

【はじめに】

細川先生のご講演は、今まで学んできたこととあまりにも違うので、驚きの連続です。歴史好きではあるものの素人である私としては、いつもどんな話が飛び出してくるのだろうかと期待が募り、ワクワクしながら拝聴させていただいております。

今回のテーマ「鎌倉幕府の滅亡と金沢北条氏」は、高校時代に『太平記』の物語として読み、楠木正成や新田義貞が大好きな私にとって、楽しみでいっぱいでした。そして今回もまた、まさに度肝を抜かれるお話でした。



【権威と権力】

冒頭に先生は、「今日の日本も、天皇陛下の『権威』のもとに、自民党が内閣という『権力』を行使している。日本国憲法にもそう書いてある」と述べられました。さらに、「この構図は古代の天皇親政以後、形を変えながらも基本的には変わらず今日まで続いている。権力が権威を否定したら、その権力は日本に存在できない」と続きます。会場は一瞬静まりました。

【鎌倉幕府と元寇】

鎌倉幕府は軍事政権でありながら、権威は朝廷、権力は鎌倉幕府という具合に、伝統的な棲み分けを保っていました。

しかし、北条時宗の時代に、有史以来の国難である元寇の兆候が現れます。戦争は即断即決が必要です。当時、鎌倉と京都の間を事あるごとに往復しては、判断の遅れから重大事態を招きかねません。そこで鎌倉幕府は、国家非常事態とも言うべき挙国一致体制、すなわち戦時下体制へと移行しました。これは権威と権力の一時的統合であり、現代に置き換えれば「大本営の設置」といったところでしょうか。

【大本営の固定化】

文永の役（1274 年）・弘安の役（1281 年）という二度の国難を退けた後も、油断はできません。三度目の襲来があるかもしれないという懸念から、大本営体制はそのまま維持されました。

しかし、各方面からの情報によれば、元の矛先はベトナム方面に向かっており、日本への再来の可能性は極めて低いという報告もありました。それにもかかわらず、幕府は権威と権力を同時に保持する「旨味」を忘れられず、権威を朝廷に返すことなく持ち続けました。

こうした状況が続けば、当然ながら権力は腐敗していきます。得宗家とその一族に富と権力が集中する構図が出来上がり、限られた経済規模の中で一部に富が偏れば、他は貧困化するのが世の常です。

特権階級以外の貧困層が増えれば、バランスが崩れ、ちょっとしたきっかけで革命が起きても不思議ではない状況でした。

【権威を朝廷に返してね、ついでに権力も】

私が高校生向けに読んだ『太平記』には、こうした背景は書かれていませんでした。以前から不思議だったのは、楠木正成が赤坂城では 500 人で 1 万の幕府軍と戦い、千早城では 1,000 人で数万の幕府軍と戦っていたにもかかわらず、所詮は局地的なゲリラ戦に過ぎないという点です。

後醍醐天皇がいくら倒幕を叫んでも、大局には変化がないと思っていました。ところが、細川先生の講義を聞いていると、まさに革命前夜ではないですか。そこに、本来の権威者である天皇が檄を飛ばせば、人々がついてくるのも不思議ではありません。

新田義貞、足利尊氏といった有力武士が幕府を裏切れば、幕府滅亡は必至だったのです。

【おわりに】

細川先生のご講演は、毎回新鮮な驚きと発見に満ちており、歴史好きの私にとっては至福のひとつです。今回のテーマ「鎌倉幕府の滅亡と金沢北条氏」も、『太平記』を愛読してきた私には特に興味深く、期待通りの刺激の内容でした。

先生は冒頭で、現代日本における「天皇の権威」と「内閣の権力」の関係に触れ、これは古代から続く構造であると指摘されました。前回の講演では、「武士道と云は極道と見付けたり」といった独特の切り口で歴史を語られ、私たちの前に鮮やかにその姿を示してくださいました。

最初は思わずギョッとするような表現も、家に帰ってから講演内容を振り返れば、「なるほど、そういうことだったのか」と、これまで常識と思っていたものが見事に覆されます。その視点から改めて歴史を見直すと、スッキリと腑に落ちるのです。

次はどのようなお話が飛び出してくるのか、今から楽しみでなりません。



2025 年 7 月 12 日 (土) 晴れ

鎌倉幕府の滅亡と金沢北条氏

講師：細川 重男氏

出席者		一般会員	委 員	計 (出席率%)	ビジター	合計	アンケート (提出率%)
	男	48	6	54 (62.1%)	1	55	40(62.5%) 40/64
	女	15	1	16 (53.3%)	0	16	
計		63	7	70 (59.8%)	1	71	

①学習会内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった	チェック無し
23 名	17 名	0 名	0 名	0 名

- ・今回のご講演テーマに関連する一つ一つの事象について、「何故起きたのか」「何故その様な結果になったのか」ということが特にわかりやすかったです。
- ・細川講師の話は何回聴いても迫力があって Good！鎌倉幕府滅亡の背景説明も判り易い。
- ・内容が分かりやすく、スピーディーで毎回楽しみです。
- ・話術も内容も声の通りも大変良かった。白板の字が少し薄くて見えづらかった。
- ・大変勉強になりました
- ・分かり易い
- ・先生の熱血講義が楽しく時間を忘れるようでした。金沢北条氏のこともあり、また鎌倉時代は今もお金のあるところにはあるもんなんだなと思いました。金沢氏の生き残り戦の話が興味深かった。
- ・鎌倉時代の内部構造が良く判りました（門閥とかの意味が良く判らなかったのも）。
金沢氏は幕府がなくなっても頑張っていましたね。エライ。
- ・いつも変わらぬ熱い語りで、鎌倉幕府滅亡のことが良く判りました。話を聴くだけでパフォーマンスも含めて語りのプロですね
- ・口は悪いけれど、話が分かりやすく面白い。鎌倉時代は興味外だったが、こんな話ならリピーターとして参加したい。
- ・お馴染みの細川節で楽しく学ばせていただきました。
- ・話が分かり易かった
- ・源氏門閥というステータスが幕府内で消えていった時期が源氏将軍から九条兼家将軍になった時点であることが明確になったこと、幕府滅亡の原因が一部特権層に権力と富が集中したことで御家人の離反が主因であったこと等興味深く拝聴。北条滅亡後の金沢氏流を中心とした反乱は散発的で政治的にはあまり影響はないということですが、中先代得宗の乱はインパクトが大きいですが。

- ・相変わらず切れの良い語りで愉快。虚実交えて講談師なテンポで歴史を腑分けするので、今後も年一の開催を望みます。
- ・私にもわかるような平易な話の進め方が良かった
- ・とても面白かった
- ・初めて聴くテーマだったが、例えを多く挟みながらの講義で集中して聴講できた
- ・系図が多く解説が分かり易かった
- ・自論を説明されたのが分かり易かった
- ・分かり易いご説明
- ・特権的支配層の考え方が理解できて大変良かった
- ・大変面白かったです、ありがとうございました。テーマの絞り方が良かったです。
- ・鎌倉幕府滅亡の前後が良く判りました
- ・鎌倉幕府滅亡の話が分かり易くありがたかった
- ・東勝寺跡、腹切りやぐら等歩きました。幕府滅亡のあわれを感じました。今日の勉強はとても楽しい時間でした。
- ・分かり易かった。難しい話を楽しく聞かせていただきました。
- ・幕府滅亡の理由がわかり面白かった。権力者の最後が同じようなものというのも理解できた。
- ・解説が面白く分かり易かった。

②細川講師にご講演頂きたいテーマ

- ・室町時代の鎌倉（鎌倉府やその後）
- ・鎌倉幕府滅亡以降、明治維新までの間の武家、庶民等の歴史的考察をお願いできればと思います。
- ・承久の乱について
- ・金沢氏の古文書をお願いします。
- ・北条氏滅亡後の金沢はどうなったか
- ・北条に最後まで味方した安達氏について取り上げてほしい
- ・鎌倉室町時代の仏教について。高一族と上杉一族、その存亡を分けた理由
- ・源頼朝に仕えた島津忠久（薩摩島津氏の始祖）と鎌倉幕府の関係
- ・中世史・京都と鎌倉の関係
- ・南北朝時代と室町幕府の政治体制
- ・楠木正成

③学習会の運営について

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
18:名	21 名	0名	0名

記入なし 1

- ・いつも通り受付から片付け迄とてもよかったと思います。
- ・時間配分がちょうどよかった

- ・役員さまが親切で助かります
- ・30分前に開場していただいて良かったです
- ・しっかり案内され、実行されていた
- ・特に問題なし

④”わ”の会について、何でもお書きください。

- ・毎回毎回ありがとうございます。
- ・今後のご活躍を期待致しております
- ・本日の講師の細川先生の新しい本を販売してもよかったのではないのでしょうか。購入出来たらよかったと思いました。

運営委員代表の意見・感想

第3回学習会は、会員の皆様お馴染みの細川重男先生に、「鎌倉幕府の滅亡と金沢北条氏」と題した講演をお願いしました。この講演のタイトルは、金沢の歴史を学ぶ”わ”の会としてはど真ん中のテーマであり、多数の会員の参加を得ることができました。

細川節は相変わらず、歯切れがよく、アンケート結果からも、「分かり易かった」という意見がたいへん多く目につきました。講演内容に関する会員の評価も、アンケート提出者全員が「たいへん良かった」と「良かった」で「普通」「つまらなかった」「チェックなし」は1件もないという高評価でした。

“わ”の会代表 鶴岡重典

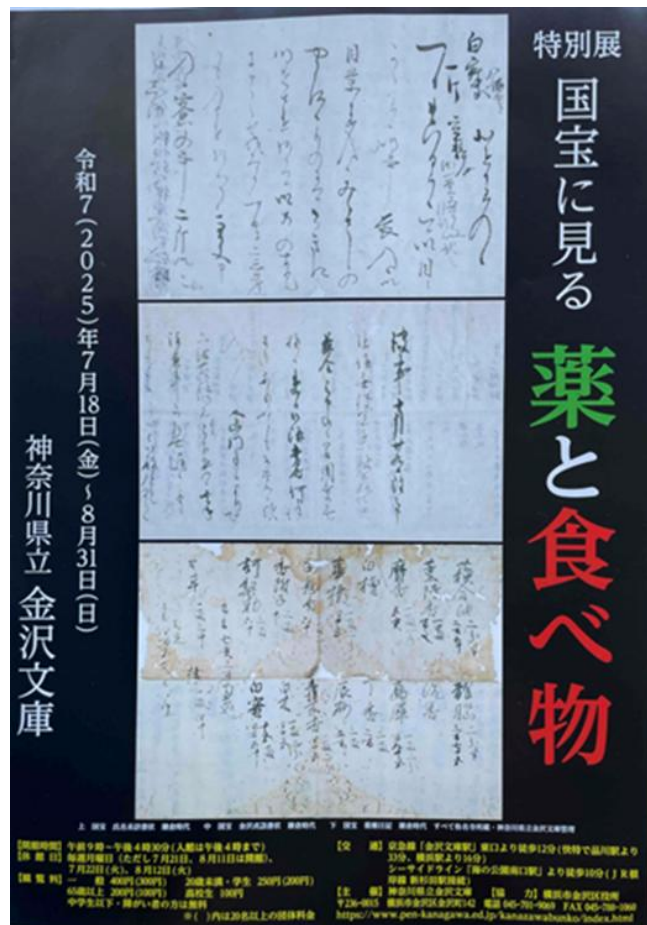
2025 年度 第4回学習会 県立金沢文庫特別展 『 国宝に見る薬と食べ物 』の展示内容と解説

編集委員 吉武惇二

開催日：2025 年 8 月 22 日（金）
10:00～12:00

会 場：県立金沢文庫
地下大会議室 及び 展示室

講 師：神奈川県立金沢文庫
文庫長 向坂 卓也 氏



【はじめに】

「薬」と「食べ物」は今も昔も人々の生活に欠かせないものである。県立金沢文庫が管理する国宝「称名寺聖教・金沢文庫文書」は日本中世の政治や仏教だけでなく、生活や文化を知る上でも重要な資料群となっている。今回は県立金沢文庫文庫長の向坂講師に、国宝に見られる「薬」と「食べ物」に関する紹介がされた。

講演では「薬」と「食べ物」の2つに分類して説明され、その見どころとそのポイントを解説された。講演後に見学した展示室では、「称名寺聖教・金沢文庫文書」の中に見られる「薬」と「食べ物」に関する資料を読むことができた。数多くの資料からは、中世に生きた人々の生活の一端を垣間見ることができると同時に、それぞれ赤色の文字で「国宝」の押印がなされていることに、その貴重さに重々しさを感じた。

1. 薬について

古文書の中には薬の使い方について記されたものがあり、これらの文献を基に、当時の人々がどのような点について関心が深かったか、6項目に分類して説明があった。①薬が欲しい、②薬がない、③薬を使ったら、④薬の使い方・薬を勧める、⑤薬の種類と薬の値段、⑥薬の処方・調合、についてである。その中には今とだいぶ異なる使い方をするものもあれば、以前から現在までほとんど使い方の変わらないものもあり、大変興味深かった。

2. 食べ物について

食べ物について6項目の説明があった。①そうめん、②果物、③松茸、④酒、⑤産地の分かる食材、⑥珍しい、についての説明があった。食べ物の産地が現在まで続いているものがあるという。例えば、出雲の海苔は1300年も前から続いていると伝えられ、野島の手巻も700年も前から続いているといわれる。さらに、松茸の書状も登場し、昔から松茸は高価なものであったことがうかがえる。また、現在と同様に食べ物が贈り物用として使用されていたこともうかがえる書状もある。珍しいと思われる蜜柑を送ったことがうかがえる書状もある。贈り物としての分量や見栄えを気にしている様子は、現在と変わりなく、大変興味深かった。

【おわりに】

たいていの古文書といわれるものは、公式的な書類として末永く残すことを目的としているため、保存状態が良好であれば、現在まで残されていることが多い。これに対して称名寺に伝わる古文書の多くは、書状の裏側を再利用するなどしたため、通常では残らない私的文書をたくさん含んでいるといわれる。そのおかげで、昔の人の生の声を知ることのできる貴重なものとなり、今回の講義は有益であった。

(酷暑が続いたため、干上がってしまった今夏の称名寺の池)



2025 年 8 月 22 日 (金) 晴れ

特別展『国宝に見る 薬と食べ物』

講師：向坂 卓也氏

出席者		一般会員	委 員	計 (出席率%)	ビジター	合計	アンケート (提出率%)
	男	38	6	44 (50.6.1%)	1	45	35(74.5%)
	女	8	1	9 (31.0%)	0	9	
計		46	7	53 (45.7%)	1	54	35/47

①学習会内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった	チェック無し
11 名	21 名	3 名	0 名	0 名

- ・古文書の理解が困難にて、なかなか興味がわかず。もう少し平易な説明であってほしかった。
- ・中世の中国と日本の関係。中世に生きた庶民の生活の中の薬と食べ物等、生活の中の一端が良く判った。
- ・実際に古文書を読んで下さったので、分かり易く興味を持てました。私文書を読むと今と同じ生活をしてた人たちの様子がわかり面白かった。
- ・中世の日常生活における、薬、食べ物を取り上げてのお話し、手に取るように理解できました。
- ・金沢文庫には薬や食べ物に関する内容が書いてある文書なども残っていて貴重な資料であると思う。政治的な古文書はわが国の歴史の中ですべてが事実ではなく、それを考慮しなければならないが、私的な文章である手紙や日揮は嘘は書かれていない（書く意味がないから）ので、当時の資料としては一級品である。それを知ったことで今回参加して良かった。貴重な紙の裏書のために、残った文章であったと聞いて納得した。
- ・いつの時代も薬の大切さを感じさせる
- ・古文書を学習しているので大変わかりやすく面白かった。特に、薬と食べ物に特化した話に興味があった。
- ・当時の薬、食材等、具体的に記されている古文書を示されてよかった。
- ・古文書を学んでいるので今回の向坂氏の解説はありがたいものでした。私の知識では解読できないレベルのものでした。丁寧にご説明いただきありがとうございました。古文書に興味のない方はいかがでしたか。
- ・古文書は難しいですが、内容を詳しく説明いただき、興味のあるものでした。当時の文化の一面を感じ。
- ・当時の様子が少しわかった。
- ・あっと言う間に終わった感じ。講演時間はもう少し長くあってほしかった。

- ・「称名寺聖教・金沢文庫文書」の中にみられる「薬」と「食べ物」に関する豊富な情報を大変わかりやすく整理されとても興味深かった。
- ・資料の古文書と解説書が今一つリンクしていなかった。
- ・具体的な説明で分かり易かった。
- ・古文字に興味を持ちました。
- ・古文書が読めないのに、せっかく貴重な文書を理解できないのが残念です。質疑で出てきた文章の書き方の解説が面白い。
- ・初めての分野（古文書とか展示とか）だったので、興味深かった。
- ・大変珍しい文書（裏分が浮き出ている。現代とほとんど同じ嗜好が読める。
- ・鎌倉時代の日常生活が垣間見られて面白い。）
- ・称名寺聖教は普段は目で見るだけで通り過ぎていたので、具体的に文書を読んでもらったのが良かった。
- ・良く判らなかった
私文書が字面だけでなく、背景の説明が面白かった。
- ・当時の食べ物から生活の状態が分かってくる。公文書より私文書が読めたら面白い。
- ・今も昔も薬に対して最大の関心事であり、高価と効き目に対して庶民は苦勞しています。

②県立金沢文庫にご講演頂きたいテーマ

- ・中世において鎌倉と金沢の関係性。どのようにかかわってきたのか等の資料の展示を。
- ・全国に広がっていた北条氏の領地のことなど。また、その後の流失。
同様に三浦一族についても
- ・鎌倉時代の庶民の生活諸々。特に経済、教育、医療
- ・金沢氏四代について

③学習会の運営について

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
12名	19名	3名	0名

記入なし 1

- ・講演も 1 時間くらいで、その後自由見学ができるのが良いと思いました
- ・スムーズな運営に感謝申し上げます。
- ・いつも乍ら上手な運営
- ・運営委員の皆様たいへんご苦勞様です。
- ・手慣れた運営で満足感が多い
- ・今日の学習会はなかなか難解でした。

④”わ”の会について、何でもお書きください。

- ・今回配布された会報もまた、内容と情報の多さに感銘しています

運営委員代表の意見・感想

例年 8 月開催の第 4 回学習会は、県立金沢文庫の特別展の解説をしていただき、その後に展示を見学するという形で行っています。今年も例年同様、特別展『国宝に見る 薬と食べ物』の展示内容の解説を文庫長の向坂卓也氏にさせていただき、その後に展示を見学しました。参加者が 54 名と例年に比べると少し多かったのは高齢者にとって関心が強い「薬と食べ物」がテーマであったこともあったと思います。解説も私文書を多く取り扱い、会員に分かり易くご説明いただき好評であったと思います。普段、古文書に触れる機会の少ない会員も、これを機に古文書に興味を持っていただければ、さらに良いと感じました。

“わ” の会代表 鶴岡重典

2025 年度 第 5 回学習会

『 中世の民衆と生業 』

編集委員 熊谷信雄

開催日：2025 年 9 月 14 日（日）
13:30～16:30

会 場：金沢地区センター

講 師：青山学院大学文学部史学科 准教授
谷口 雄太 氏



【はじめに】

中世社会を支えたのは、農民だけではありません。山野・河海に生きる人々は、農業以外にも多様な生業を営み、地域社会の基盤を築いていました。本講演では、民衆の暮らしに焦点を当て、彼ら彼女らがどのように自然と関わりながら生きていたのかを説明された。日本は「瑞穂国日本」として農業中心の国と思い込みがあったが、6割は多種多様な生業から成り立っていたという『網野善彦』学説を分かり易く説明された。海や山の世界での暮らしや様々な生業を紹介された。

【「瑞穂国日本」の虚像】

①年貢は全国「米」で、農業優位であるという思いこみ

- ・中世（平安末～鎌倉時代）の西国・東国の年貢品目の特色（東大日本史2010年問題より）
 - (1)西国（畿内・九州）では米年貢が圧倒的（西の農業優位社会）
 - (2)東国（関東）では米年貢は例外的で、年貢は主に絹・布・綿など繊維製品

②「百姓＝農民」ではない

- ・1960-70年代では「百姓が農民である」と教科書や研究者は自明の前提であった。
- ・「百姓」の漢字には「農」の意味は含まれていない。「百姓」には「多くの役人」「多くの民」「庶民」「人民」と解されており、「百姓」はけっして農民でなく、きわめて多様な生業を営む人々が含まれていた。
- ・「百姓」は実態に即してみても様々な生業を営む人々を多く含み、農業の比重も決して圧倒的ではなかった。農業は37%であり、63%の多くは多様な生業に携わっているが、その研究は、ほとんど空白にしたまま、たとえば「瑞穂国日本」のような偏った日本社会像が「実像」として世の前面に押し出され続けてきたのである。そのかたよりを修正し、「虚像」の部分の実態を明らかにすることにより、出来る限り正確な日本列島の社会像を描く必要がある。

【非農業民の多様な生業紹介】

「七十一番職人歌合」（室町～戦国時代頃の成立）より7件紹介

142人の職人の人々が左右2組に分かれて和歌の優劣を競うという歌合

①魚売（いをうり）



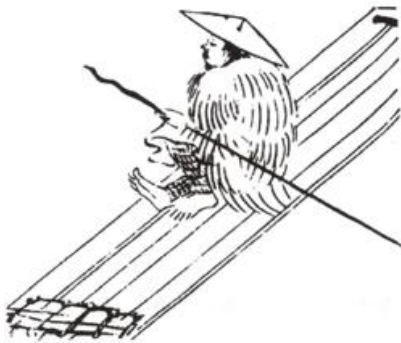
- ・漁労は交易と不可分。各地を遍歴して売る
- ・魚を取るのは男性、売るのは女性の役割

②山人（やまびと）



- ・山に住み、柴・蒔を求める。炭を焼く。
- ・狩猟を行う。獣皮を敷く。

③筏士（いかだし）



- ・山から伐り出された材木を流して運ぶ。
- ・棹を持ち、笠・蓑をまとう。山川海を繋ぐ。

④機織（はたおり）



- ・桑を取って、蚕から絹糸を作る。
- ・機織りは女性が中心に実施。

⑤饅頭売（まんじゅううり）



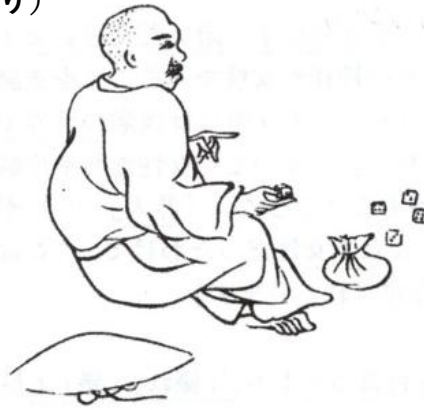
- ・覆面姿の行商人。次第に賤視されるようになる。
- ・饅頭（中身は小豆・野菜・肉など）を行商する。

⑥立君（たちぎみ）



- ・路上で客を引く遊女。社会的地位は低く
なかったが、次第に賤視されるようになる。

⑦寶磨り（さいすり）



- ・サイコロを専門に作る職人。僧侶姿。
- ・詐欺博奕師？イカサマ用のサイコロを作る者も現れた。

宮崎駿映画「もののけ姫」



【網野善彦の宮崎駿映画「もののけ姫」評】

- ① 「もののけ姫」の中世日本の世界観は網野善彦氏の著作に影響されている。
- ② 登場人物を武士、農民が描かれずに、非人、遊女、ハンセン病患者等所謂「賤民」として差別された集団が描かれている。
- ③ 鉄を精製・生産するタタラ場の頭領・エボシを女性として設定されている。タタラ場の女性のみ集団（覆面の人たち）と僧侶の姿をして鉄砲を持つ「悪党」ともいうべき集団（映画では石火矢衆）を結び付け、「穢れ」「悪」をプラスの強い力で描かれている。

【網野善彦「異形の王権」】

- ・非農業民（多様な生業）への視線、『異形』の人々への注目が集まっている。
- ・農業は37%で残り63%は多種多様な生業があり、アウトロー的な集団を作っている。
- ・覆面、蓑笠、童形、撮棒・・・＜異類異形＞の者たちが中世社会を闊歩する。それら周縁の力をとりこんで自らの権力を打ち立てたのが後醍醐天皇である。時代の閉塞感に対して関わっていた。

【感想】

中世社会を支えたのは農業だけでなく、多様な生業が地域社会の基礎を築いていたという説明はとても分かり易く理解できた。生業の一部でしたが興味深く、挿し絵が当時の役割を表現していた。中世では「瑞穂国日本」は西国中心の農業で、東国は絹・布・綿といった繊維製品だったという東大入試問題を例に出して説明をされたのも分かり易かった。私達の思いこみよる誤りがいかに多いか実感させられた。『もののけ姫』を題材にしてこんなに深い意味合いがあるとは思わなかった。覆面の人達（石火矢衆）とはどういう人だったか等非常に複雑な人間関係が入り組んでいる作品でした。宮崎駿監督が時代背景をよく勉強されこの作品を作成されたのには恐れ入りました。

中世の民衆と生業

講師：谷口 雄太氏

出席者		一般会員	委 員	計 (出席率%)	ビジター	合計	アンケート (提出率%)
	男	36	6	42 (48.8%)	0	42	36(63.2%) 36/57
	女	21	1	22 (75.9%)	0	22	
計		57	7	64 (45.7%)	0	64	

①学習会内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった	チェック無し
27 名	8 名	1 名	0 名	0 名

- ・ 歴史の裏側というか、「民衆」に焦点をあてたお話はなかなか伺えないので興味深く拝聴しました。
- ・ 百姓についていろいろ考えさせられた。資料データから読み取ることは勉強になった。
- ・ 一村人に的を当てて社会を学ぶことが面白かった。続編を期待したい。
- ・ 百姓＝農民とずっと勘違いしていたが、講義を聞いて納得しました。「ひゃくせい」と「ひゃくしょう」の違いを調べなおします。「たいへん良かった」というよりも「大変面白かった」
- ・ 大変面白く拝聴しました。
- ・ 私の出身地の奥出雲の話
- ・ 話が分かり易く理解できた。もののけ姫が出てくるとは思わなかった。例えが良い。
- ・ 網野善彦史観に初めて触れました。百姓＝農民ではないとし、非農業民（多様な生業）の存在を知りました。百姓一揆の私の理解も変わるように思います。
- ・ 丁寧な説明ありがとうございました
- ・ 非常に分かり易かった
- ・ 従来の常識（米中心の経済、農民がメインの社会）について前から疑問があった。その疑問が今日の講演で分かりとてもよかった。いつも熱い語り、聴いているだけで気持ちが高揚してくる内容です。
- ・ 「金沢を軸足とした」テーマの展開が望ましい。是非、先生方にその旨お願いしてください。
- ・ もののけ姫の話は面白かった。識っていた話。
- ・ 「百姓」についての理解が深まる。もののけ姫を通じて非農業人を表現している面白さ。非農民の生業の紹介は良く判った。
- ・ 百姓が農民だけではなく、一般庶民全体を指すというのが一般的になって来たのは前進と思います。年貢を納めてきたのが農民であったことが大きいのでは。いわゆる非農民層は支配者から見て年貢の対象になっていたのでしょうか。
- ・ 百姓についてよくわかった。
- ・ 昔、網野先生の本を読んで、このような歴史の見方があるのかと感動したことを思い出し、興味深く聞

かせていただきました。

- ・初めて網野善彦を認識し、アニメ「もののけ姫」の背景と意図を理解することができた。
- ・百姓＝Hyakusho は新鮮。
- ・網野学説を初めて知りました。
- ・中世においては西国ではコメ年貢、東国では繊維製品年貢が主体であったことは驚きました。
- ・網野氏の歴史学
- ・百姓（水呑百姓）＝農民という概念を持ち続けていた小生にとって本日の講演は少しショッキングなものでした。
- ・公家・武士中心の中世史が多いが、経済の基盤を支えた民衆の生業につき的を絞ったお話は大変面白かった。網野史学に久しぶりに接することができ興味深かった。再度読んでみようと思いました。
- ・確かに、生業は農業だけではないよね。今まであまり考えていなかった分野のお話しでした。網野氏の本も読んでみたいと思います。小生の聴力が落ちているせいか、聞くのがたいへんでした。もっとゆっくりだとなおよい。
- ・今までにない角度から見た歴史
- ・百姓の概念が変わりました。
- ・「職人歌合戦」の種々の生業が白かった。百姓の意味を初めて知った。
- ・相変わらずの谷口節で超楽しかったです。網野先生論の話もお願いします。
- ・観点の違う説明が新鮮。資料も面白い。
- ・百姓を農民の代名詞としていたが見直しさせられた。

②谷口雄太先生にご講演頂きたいテーマ

- ・今回の続編。
- ・「中世の民衆と生業」そのⅡの講演を聞いてみたいと思いました。
- ・中世史、室町幕府
- ・レジュメ①～⑦以外の非農民について、「異形の王権」について
- ・吉良氏など足利一族全体について知りたい
- ・足利氏は鎌倉時代（鎌倉幕府）をどう生きたか。
- ・①異形の王権について ②太平記史観の検討
- ・現在の日本人が持つ常識に疑問符が付くようなテーマがあれば伺いたいです。
- ・同様内容で追加
- ・中世足利氏について
- ・中世のカオス

③学習会の運営について

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
19名	15名	1名	0名

記入なし 1

- ・今回もありがとうございました。
- ・映画「もののけ姫」「草の乱」をじっくり見たいと思った。
- ・幹事様お疲れ様です。
- ・運営委員の皆様、ご苦労様でした。

④”わ”の会について、何でもお書きください。

- ・これからもよろしくお願いします
- ・ご苦労様です。

運営委員代表の意見・感想

今年度第5回の学習会は”わ”の会学習会ではお馴染みの谷口雄太先生に「中世の民衆と生業」と題した講演をお願いしました。今までも、新しい学説にもとづく説明をしていただいていたのですが、今回も中世では、百姓＝農民という日本人の思い込みを打ち破る解説を熱く語っていただきました。「目から鱗」の会員も多かったようです。

会員のアンケート結果も提出者36名中、75%に当たる27名が「たいへん良かった」というすこぶる好評価でした。谷口先生には2018年以降、コロナ禍で開催できなかった2020年を除き講演をお願いしていますが、来年も登場していただく予定ですので、皆様ご期待ください。

“わ”の会代表 鶴岡重典

令和7年度

第3回 金沢の古刹薬王寺住職のお話を聞く

開催日：令和7年7月3日(木) 天候 晴

コース：金沢文庫駅（集合）⇒ 三宝寺（薬王寺墓苑）⇒ 墓地（薬王寺管理）
⇒ 子の権現社 ⇒ 薬王寺（住職のお話し、拝観）⇒ 金澤八幡神社
（解散）

参加者：会員25名 準会員1名 計 26名

今回は熱中症警戒アラートが発表されていないものの、とても暑い中での探訪となった。

金沢文庫駅で集合し閑静な住宅地を抜け、野島、夏島が見渡せる道を通り三宝寺に向かう。金沢の急速な発展に伴い1961年に信者の倍増と寺門の興隆の為、墓苑を造り薬王寺別院三宝寺を開基した。そこから薬王寺管理の墓地を通る。

ここは旧字名御所が谷の的場「まつば」と呼ばれていた。御所が谷の名前の由来はいくつか有るが、現地の案内板には亀山天皇が滞在したという説が書いてあるが下向の記録はない。また「まつば」は北条氏が武芸を磨く的場（まとは）のあったとされる場所でその名が転化したとされる。

少し歩くと子聖大権現を祀る祠がある、子の権現社に着く。



（子の権現社）

火伏せと足腰守護の神として多くの人達から信仰され、かつてはたくさんの草履が奉納されていたということだ。

次に訪れたのは称名寺赤門のすぐ前にある真言宗御室派の薬王寺。仏教ではお香で身を清めるとの事で、皆、掌に一振りずつお香をいただく。



（薬王寺 山門）

こちらでは昇堂、住職のお話を聞く。このお寺は源頼朝に謀反を疑われ修禅寺で誅殺された異母弟、源範頼の霊を弔う為に建立され三叡山遍照坊と称されていたが、一時荒廃し室町中期に三療山薬王寺と改号される。本尊は範頼の念持仏として伝わる薬師瑠璃光如来で秘仏として祀られている。

本堂内には継承された範頼の位牌、遍照房本尊大日如来、弘法大師像、聖観世音立像（鎌倉末期作）、横浜市指定有形文化財の絹本着色種子両界曼荼羅、そしてとても穏やかな顔と繊細な法衣の裾が印象的な、法衣垂下像形式の客仏木像地藏菩薩座像がある。



(住職のお話を聞く)

境内には太寧寺殿五輪塔、大宝篋印塔の他、地域の石塔類も集められている。梵鐘は 1961 年に新造され、朝夕6時に時の鐘が撞かれている。住職のお話しでは地域に根ざしたお寺をという思いを強く感じた。



(太寧寺殿五輪塔)

境内を見学した後、金澤八幡神社に向かう。祭神は応神天皇等四柱。鎌倉後期、称名寺造営の金堂の屋根を葺く為の檜皮を積んだ船が野島に着き、それを八幡宮の前で荷揚げしたという記録が金沢文庫古文書にある。1869 年旧号八幡大菩薩を金澤八幡社と改め氏子地域は金沢町寺前となる。



(金澤八幡神社 扁額)

神仏混淆の名残りとして本地仏阿弥陀如来座像、八幡神坐像等の仏像が祀られていたが、現在は富岡八幡宮の宝物殿に保管されているとのこと。八幡神社の境内で解散する。

歩いた道は日影もなくとても暑かったが、調子の悪くなる人もなく最後まで歩いて良かった。薬王寺で昇堂しゆっくり住職のお話を聞けて良かったと言う声があった。7月は余り歩かずに、ゆっくりお話しを聞くのも良いかもしれない。

(熊谷 滋子 記)

第4回 DVD鑑賞「国宝へようこそ」

1. 日月山水図屏風 2. 春日大社

開催日：令和7年8月7日(木) 天候 晴れのち曇り

開催場所：金沢公会堂 多目的室

参加者：会員28名 準会員5名 計33名

1. 日月山水図屏風

国宝「日月山水図屏風」は、大阪府河内長野市の真言宗御室派大本山、天野山金剛寺にある、室町時代末期（諸説あり）、作者不明の六曲一双の屏風である。一日の巡りを太陽と月を同時に描くことで、また日本の春夏秋冬を右から左へと時計回りに巧みに配置して、一年の循環を表す

仕掛けがあり、この屏風には{永遠のときの巡り}が込められている。右隻には海に囲まれてこんもりと盛り上がった山々を春・夏の姿で描き、山間には太陽が金箔であらわされている。左隻は秋の山から続く松林の海岸と、遠景に雪山を描き、銀箔の月があらわされている。「日月山水図」の意味するものは、四季が巡る日本で自然とともに暮らしてきた日本人の心、古来自然に神や仏を感じ自然を畏れ敬う日本人の心なのであろう。随筆家の白洲正子は、「金剛寺の修行僧が日々の修行の中で感じるままに描いたのだろう。」と推測している。そのダイナミックな表現はまるで大自然の曼荼羅のようだという。自然と一体化するような毎日を過ごしていると、山にも川にもそして空にも、生命がうねるように巡っているのが分かるのだろう。又、見た目の美しさと超絶技巧、金銀箔の秘密の技法など底知れぬ謎を秘めており、絵画性と装飾性が融合した日本絵画の特質を表した逸品でもある。



(日月山水図屏風)

2. 春日大社

春日大社は奈良市春日野町にある全国に約3000社ある春日神社の総本社である。ユネスコの世界文化遺産に「古都奈良の文化財」の一つとして登録されている。768年に平城京の守護と国民の繁栄を祈願するために平城京の東に創建され、中臣氏、藤原氏の氏神を祀る。国宝の本殿は一般の人には目にすることが許されない。本DVDでは1月1日の未明本殿で行われる神事「歳旦祭」の様子を伝える。変わることなく受け継がれてきた神様の住まいをうかがい知ることが出来る。そこに醸し出される風景は神々への畏敬の念、さらに安らぎをも感じさせる。



(春日大社本殿と神木)

春日大社は、神が降り立った三笠山のふもとに創建された。春日野の森の中で木々が奏でる音、雨が葉に当たる音など、神は木を伝って訪れると信じられてきた。本殿の「あめのこやねのみこと」の住まいには国宝の楽器『蒔絵琴』が収められていた。金銀の蒔絵、

螺鈿の花で飾られ日本で最も美しい楽器といわれる。また若宮にも国宝の「銀琴」が収められている。わずか 26cm の小さな琴で演奏は出来ない。本 DVD では毎年 12 月中旬の「春日若宮おん祭り」も紹介する。神は目には見えないよう、神職に囲まれ神職の「ヤーヤー」という荘厳な声とともにお出ましになる。そして神楽、田楽、舞楽が奉納され、神への祈りがささげられたのち又神職に囲まれ「ヤーヤー」という声と共に去っていく、神と人間の間に音が行き交う荘厳な神事である。

猛暑の中多くの参加者があった。

(浜辺 隆文 記)

第5回 「横浜市立歴史博物館」学芸員による解説と見学

開 催 日：令和7年9月4日(木) 天候 雨

コ ー ス：市営地下鉄センター北駅(集合)～横浜市歴史博物館(解説・見学)(解散)

参 加 者：会員26名 ビジター1名 計27名

今回は集合場所での受付時の配布資料はなし。A 班 B 班の 2 組に分かれて説明を受ける。

A 班；企画展～常設展 B 班；常設展～企画展 約 1 時間で交替 14 時から 16 時

企画展：「君も今日から考古学者 横浜発掘物語 夏休み編」として学生向けに企画された特別展。

地域のリーダーの墓である古墳には副葬品として埴輪、土器や土偶などがあるが、今回の企画展では顔に注目して展示を行った。横浜の古墳時代は、西暦 3 世紀の中頃から始まった。横浜市域には古墳の数はそれほど多くはないが、いくつかの特徴的な副葬品を持つ古墳がある。その中で顔を持つ、公田ジョウロ塚遺跡(栄区)の土製頭部片、原出口遺跡(都筑区)の筒形土偶、上台遺跡(鶴見区)の人面付土器などについて説明をもらった。



(人面付き土器)

又、青葉区の長光寺原古墳群では鉄でできた鎧兜や武器、馬に着ける飾りが見つかった。今の大阪府や奈良県にいた日本列島最高のリーダーである大王から与えられたものであると考えられている。都へ運ぶ税の俵には荷札がつけられていたが都へついて検品がすむと、要らなくなって外され、捨てられました。平城京跡で木簡として大量に出土している。武蔵野国や相模国から運ばれた税に付けられていた荷札も見つかっている。

企画展は橋口学芸員から説明を受けました。

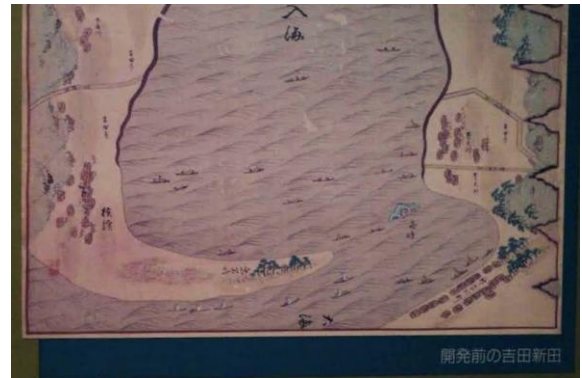
常設展；今回は近世と中世について説明を受けた。

冒頭、本博物館の特徴あるレイアウトについての話があった。従来の多くの博物館のレイアウトは会場がシリーズに繋がっているが、本会場のレイアウトは全体が円形状になっており。中央に休憩所兼全体説明の場があり、そこから周囲に放射状に時代別の展示室と映像コーナーなどの部屋が設けられており、観覧者は各コーナーを巡ると中央のコーナーに戻り、次は好きなコーナーへ進むことができる。つまりシリーズでないの好きな所だけを見ることが出来る。今回は時間の関係から横浜の生い立ちを語る近世と鎌倉時代交易の中心となった六浦港の中世に絞って説明を受けた。近世の市域の東海道には全国でも珍しく3つの宿場、神奈川宿、保土ヶ谷宿、戸塚宿があり、神奈川宿は広重の浮世絵にあるように海に面した景勝地であった。展示室の中央には神奈川宿のさくら屋が展示されており2階からの景色を楽しむ客の姿がある。



（神奈川宿のさくら屋）

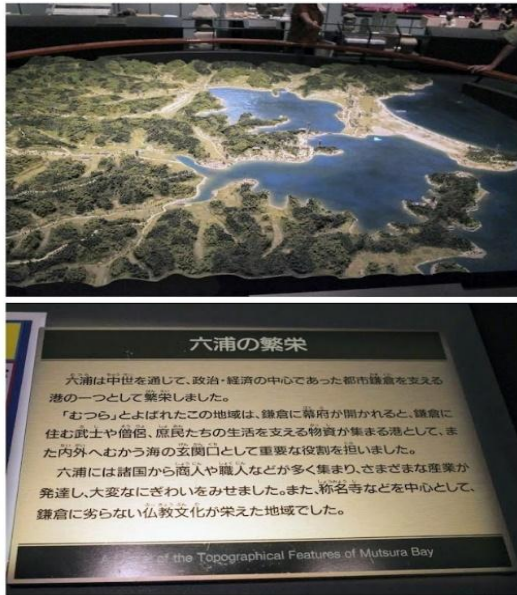
当時の横浜村は 100 名ほどの寒村で横浜の名の由来は横に細く長く伸びた砂州であったことに由来するとする説が有力である。



（開発前の吉田新田）

江戸時代前期に江戸の材木商の田中勘兵衛が開発をはじめ主導した。吉田新田は大岡川と中村川と現在の京浜東北線で囲まれた釣鐘型の土地を高い堤を築き海水を川に流して開拓した。東海道など街道を行き交う人々や、神奈川宿の繁栄ぶりが分かるジオラマが展示されている。ちなみに当時の横浜村は現在の元町、山手町、本町通り一帯に位置する。

中世の展示室では鎌倉時代から室町時代の武士による政治のもとに、横浜の人々がどのような生活を送っていたかをテーマに展示されている。



(六浦湊のジオラマ)

展示室の中央には中世横浜の海の玄関口で、文化、交易、産業の中心地であった六浦湊(金沢区)や当時の周辺の地形を復元した大型ジオラマが置かれている。

六浦は鎌倉の外港として中国との貿易や江戸内湾の交易によって栄え、武士や商人、宗教家などが多く集まり、賑わいを見せた。

常設展は小林学芸員に説明を受けた。

横浜歴史博物館で説明を聞き展示物を見て、横浜の鎌倉時代そして、江戸時代に小さな寒村から今の横浜に発展していく生い立ちを知ることができ非常に興味深かった。

高齢者から2時間の立ちっぱなしはきつかったとの声があった。

(浜辺 隆文 記)

古文書を読む会 学習記録

開催日時 会場 テーマ	学 習 内 容	参加者
2025 年 7 月 10 日 (木) 金 沢 公 会 堂 第 2 会 議 室 箱根浴湯記	冒頭、真田講師より「箱根七湯ノ分布図」と「芦ノ湖周辺の現在地図」が配布された。文中に出てくる地名を確認するための参考資料として手渡された。 文中に出てくる当時の人々の箱根の温泉巡りの目的は、いったい何だったのか、そしてその楽しみは何だったのか。約 200 年以上前の江戸時代の人々が、どんな思いで旅をしていたのだろうか。江戸時代の旅と、現代の旅の感覚の違いを比較できたら面白い。残念ながら、それらを表す記述は今のところ出てこない。	13 名
2025 年 8 月 14 日 (木) 金 沢 公 会 堂 第 2 会 議 室 箱根浴湯記	箱根到着から 5 日目、今日も雨。帰ろうと思うが川止めで逗留を続ける。翌々日、ようやく晴れ、帰路につく。途中、小田原から間道に入り、最乗寺を詣でて、関本に宿る。 心も晴れたようで、軽快な道行である。この旅は、箱根での湯巡りが目的だが、足を伸ばして近在の寺社などを巡るのも楽しみだったのだろう。 なお、関本は、足柄古道の宿場町として、また最乗寺の参拝口として、古くから栄えていた町とのことである。	10 名
2025 年 9 月 11 日 (木) 金 沢 公 会 堂 第 2 会 議 室 箱根浴湯記	今月は「箱根浴湯記」の 21～24 ページを精読した。 関本を出立してから、湯本を通過、国府津梅沢を通り、大磯に到着してここで投宿。翌日には、左手に見える高麗寺のある山々を眺めながら馬入川を渡る。そして江ノ島に到着する。江ノ島は江戸時代には多くの江戸庶民に親しまれた信仰の地となっていた。その理由は、江戸から江ノ島までは距離的に近いことや、海に浮かぶ美しい景色、新鮮な海鮮物を楽しむことができたことから、人気の場所となっていたようだ。	12 名

「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No.49

代表 江口 正彦

通算 第208回 鍾乳洞と滝の道

当初は、千足バス停から4つの滝を通り大岳鍾乳洞に行く関東ふれあいの道東京都「鍾乳洞と滝のみち」の計画でしたが、距離と歩行時間が長いため、大岳鍾乳洞から大滝の往復のコースにしました。

大岳鍾乳洞バス停近くの養沢神社で準備体操(養沢神社は養沢地区の五社を合祀して村の鎮守様としてお祀りした神社で、通常狛犬が置かれているところに、一対大きな竜王さまが置かれており、その奥に通常の狛犬が置かれていました)。神社より大岳沢沿いに大岳鍾乳洞へスタート。沢沿いの涼しい道を歩くと、イワタバコが咲いていた、沢ではやまめ狙いの釣り人がフライフィッシング釣りをしていた。さらに歩くと道沿いに、キツネノボタン、マルバマンサク、ホタルブクロ、ヤマハギそして大きなヤマユリが咲いていた。鍾乳洞方面のトンネルを抜け碎石場を通り、少し歩くと大岳鍾乳洞に到着。途中オトギリソウ、ハキダメギク、ツルマンネングサ等が咲いていた。ここでトイレ・水分補給休憩をとり出発、道の左側の岩に多くのイワタバコが咲いていた。さらに歩くと小瀧橋があり橋の右側に小滝と云えない立派な滝がありその上方には大きなヤマユリが見られた。小滝から15分くらい歩くと大滝・払沢の滝入口の標識があり、そこを左に行く、大岳沢沿いの山道になると濃い緑色の苔に覆われた岩の間を清流が流れており、猛暑を忘れさせてくれた。10分程で橋があり左奥上に大滝が見えた。沢を塞ぐ大岩の脇を滑り落ちる滝は強い水流でした。大滝からは、大岳沢沿の道を戻り12:20大岳キャンプ場に到着昼食をとる。大滝までの往復の道中では、ヨウシュヤマゴボウ、ミツバ、オオダイコンソウ、モミジグサ、ガクウツギの花、タマアジサイそしてウラギンシジミが見られた。キャンプ場からすぐの大岳鍾乳洞に行き鍾乳洞を見学。大岳鍾乳洞は、手掘りで中に入ることができるようにしたもので、高低差やとても狭い箇所もあり、外とはまるで別世界の入り組んだ洞内ではヘルメットをかぶり探検気分を楽しみました。時々ヘルメットがぶつかることもありました。鍾乳洞内部は、一般コース全長300m、温度11～13℃、一周約30分の見学で涼しさ自然の歴史を感じました。

見学後終了後、養沢神社に戻り、大岳鍾乳洞入口バス停発14:46に乗車し武蔵五日市駅で解散した。

実施日：2025年7月18日(木) 天候：快晴 歩行時間・距離 約2時間20分・約7km

参加者：12名(男性9名 女性3名) コース所在地：東京都あきる野市

交通：往路 金沢文庫 6:30 発 ⇒ 京急川崎 6:59 着⇒徒歩 JR 川崎 7:15 発⇒8:16 着立川 8:26 発⇒武蔵五日市 9:00 着 武蔵五日市バス停 9:31 発⇒大岳鍾乳洞入口バス停 10:06 着

復路 バス大岳鍾乳洞入口 14:46 発⇒15:22 着武蔵五日市 15:41 発 16:10 着立川 16:16 発⇒17:15 着 JR 川崎⇒徒歩京急川崎 17:30 発⇒金沢文庫 17:57 着

コースと時間：足養沢神社(コース説明・体操) 10:20→11:40 着大滝(見物・集合写真) 12:00 出発→12:20 着大岳キャンプ場(昼食) 12:50 出発→13:10 着大岳鍾乳洞(見物・集合写真) 14:00 出発→養沢神社着 14:20 バス大岳鍾乳洞入口 14:46 発⇒武蔵五日市バス停 15:22 解散



小瀧



大岳鍾乳洞

通算 第209回 日和田山と巾着田

当初の計画は、「大菩薩嶺」でしたが、9月平日のバス運行日は少なく、予定の日にはバスの運行がなく、計画は無理と判断。代替りのコースとして10年前に歩いた「日和田山と巾着田」に変更した。。

今回のコースは、武蔵横手駅から五常の滝と埼玉日高市で一番高い物見山(375.4m)と日和田山(305.1m)そして曼珠沙華で有名な巾着田に行く簡易なハイキングコースです。日高山山頂付近にたつ鳥居からは、巾着田を形作る川の蛇行が一目瞭然です。

武蔵横手駅前(コムラサキと百日紅が満開)で、体操し8:55にスタート、国道を100m程行き左折し関ノ入林道(杉林)を「五条の滝」を目指し30分歩く。10年前は関ノ入沢を渡り無料で直接五条の滝に行けたが、8年前より、「一般社団法人五条の滝」の管理となり滝までの道が整備され入山料200円が必要となった。展望台も新設され、展望台越しに集合写真を撮影。五条の滝は滝壺に流れ落ちる優雅な水流が見れた、滝への道の周囲にはヤブミョウガ、シュウカイドウ、ミズヒキソウが群生していた。

林道に戻り林道をさらに登り土山の分岐に出る、陽射しは林で遮られているが蒸し暑く給水休憩とする。そこから「北向地蔵」への近道(山道)を選択し10分程で北向地蔵に到着。

北向地蔵からは、杉やヒノキの林道帯を歩く。途中小瀬名からの道が合流した先で車道を横断し、緩やかに登り詰めると物見山の山頂に到着。展望はないが明るい樹林に包まれており良い休憩地です。北に向って尾根を下ると、まもなく車道に突き当たる。ここは駒高と呼ばれる集落でトイレや売店(閉まっていた)がある。天気が良いと富士山も望めるが今回は見えなかった。ここにある東屋で昼食タイムとした(脇にはヤマハギが群生と蟬梅の実が見られた)。

駒高から車道をしばらく歩くと左上先に建物が見えその先に高指山があるがそちらには行かずに、右手前の山道に入り、尾根道を歩く下り坂が続き滑りやすいので気を付けて下る。下りきると急斜面の登りと巻き道の日和田山への分岐となる。ここで2組に分かれて歩き各々とも日和田山山頂に無事到着。山頂の東側からの展望はいいが、筑波山は見えなかった、東側の日高市、飯能市方面の眺めお楽しみ、集合写真を撮った。

山頂から下り、金刀比羅神社に到着する。ここからの眺めも良く真下に日高市市街が見られる。また、巾着田の名の由来であるきんちゃくの形が下方に見える。高麗川(こまがわ)の蛇行により長い年月をかけてつくり、その形がきんちゃくの形に似ていることから巾着田(きんちゃくだ)と呼ばれるようになった。

ここからの下りは、なだらかな女坂と岩場のある男坂に分かれる。10年前は、女坂と男坂に分かれて下ったが、今回はメンバーの高齢化もあり安全を考え全員女坂を下ることにした。男坂と女坂の合流地点にある鳥居をくぐってすぐ日和田山登山口に到着。登山口には田部井淳子の若い頃訓練場と病後のリハビリ場とした日和田山ですので、「日和田山からエベレスト」のタイトルの写真付説明の田部井淳子顕彰碑が建てられていた。

そこから下り巾着田に行った猛暑の影響で曼珠沙華は発芽していたが開花していなかった。高麗駅まで歩き15:05に無事ゴールした。(解散)

実施日：2025年9月18日(木) 天候：晴れ 歩行時間 歩行距離 9.4m

参加者：15名(男性10名 女性5名) コース所在地：埼玉県日高市

交通：往路：JR 横浜(新宿湘南ライン快速) 6:26 発⇒7:03 着 JR 池袋駅⇒西武池袋線 7:14 発⇒8:16 着飯能駅⇒西武秩父線飯能駅 8:21 発⇒8:34 着横手駅

復路：西武秩父線高麗駅 15:30 発⇒15:38 着飯能駅⇒池袋線飯能駅 15:44 発⇒池袋駅

コース：横手駅(挨拶と体操) 8:55 出⇒9:30 五常の滝 9:55 出⇒10:40 北向地蔵⇒11:30 物見山⇒11:50 駒高(昼食) 12:20 出⇒12:50 日和田山⇒13:15 金刀比羅神社⇒14:15 下山⇒14:35 巾着田⇒15:05 高麗駅



五条の滝



日和田山

セーラー服と機関銃

観賞日 2025年7月14日 上映時間 130分

【参加者：33名】

【概要】

制作 1981年

監督 相米慎二

脚本 田中陽三

原作 赤川次郎 『セーラー服と機関銃』

音楽 星勝

撮影 仙元誠三

出演 薬師丸ひろ子（星泉）、渡瀬恒彦（佐久間真）、風祭ゆき（三大寺マユミ）

柄本明（黒木）、三國連太郎（太っちょ・三大寺一）、北村和夫（浜口）

寺田農（荻原）、佐藤允（松ノ木組組長）



【あらすじ】

幼い頃に母親を亡くした高校生の星泉。今度は父親を事故で亡くし天涯孤独の身の上となる。泉が自宅マンションに戻ると、マユミという女性がいて一緒に暮らすことに。翌日、泉は学校に現れた黒服の男たちに拉致され、訳も分からないうちにやくざの親分にまつり上げられる。ここから泉を巡る世界が一変する。次々と泉に襲い掛かる危機。しかしその都度、子分の佐久間やマユミに救出される。泉の周辺で起きた事件の謎がようやく解けて、敵陣に乗り込み機関銃をぶっ放す泉。事件が解決し、唯一生き残った佐久間と別れるが・・・。

原作は平成のベストセラー作家赤川次郎の代表作。17歳の薬師丸ひろ子を一躍角川映画のヒロインに押し上げ、幾多のリメイク作品を生んだ記念碑的作品。

【解説】

■ポイント

●原作者赤川次郎（1948年2月29日～）

- ・福岡市出身の小説家。父親は満州映画協会の赤川孝一。桐朋学園高校卒業後、団体職員となる傍ら執筆、1976年「幽霊列車」で作家デビュー。
- ・その後、独特な平易な文体で若者の共感を得て、「三毛猫ホームズ」シリーズ、「三姉妹」シリーズ等人気シリーズを生み出す。
- ・旺盛な筆力で多数の作品を執筆。



現在、著作数は660冊。累積発行部数は3億3000万部を突破。

■見どころ

●機関銃を撃つ星泉

セーラー服姿の星泉がヒロインの入ったローション瓶に向けて機関銃をぶっ放し、「カイクン」とつぶやくシーンは当時大はやりした

●長回しとロングショットを多用した相米演出

●テーマ曲

来生えつこ・作詞、来生たかお作曲のテーマ曲は薬師丸の歌手デビュー曲。曲名と詩を変えて来生たかおが唄った「夢の途中」も大ヒットした。

山河遥かなり (The Search)

観賞日 2025 年 7 月 28 日 上映時間 105 分

【参加者：37 名】

【概要】

制作 1948 年 アメリカ
監督 フレッド・ジンネマン
脚本 リチャード・シュヴァイザー
音楽 ロバート・ブルム
撮影 エミール・ベルナ



出演 モンゴメリー・クリフト (ラルフ・スティーブンソン)
アリーソン・マクマホン (マレー夫人)、イワン・ヤンドル (カレル)
ヤルミナ・ノヴォトナー (カレルの母)

【あらすじ】

第2次世界大戦直後、アメリカ占領地域のドイツ。戦時中、ドイツ占領下の地域から強制収容所に送られた子供たちが列車で続々戻ってくる。その中に、カレル・マリクという9歳の少年がいた。カレルはチェコの裕福な家庭に生まれ育ったが、父と姉を殺されたうえに、母と強制収容所に送られていた。カレルは強制収容所で母と別れ、幾多のつらい経験をしたことから言葉を失っていた。一方、生き延びたカレルの母は息子を探して難民キャンプを回りマレー夫人のもとに辿り着く。恐怖に襲われ脱走したカレルは除隊間近のアメリカ兵士ラルフ・スティーブンソンに保護される。心に深い傷を負っていたカレルも徐々にスティーブに心を開くようになる。スティーブから英語を学ぶカレル。スティーブの同居人フィッシャーの妻と息子がやって来て、カレルは自分も母を恋しく思い出す。母を探し回るカレルだが結局見つからずスティーブの元に戻る。スティーブは帰国手続きをするためにカレルをマレー夫人の所に連れていくが・・・。

信念の監督、フレッド・ジンネマンの出世作となった感動作。

【解説】

■ポイント

●戦後間もない頃のドイツ

1945 年 5 月ナチス＝ドイツが降伏し米英仏ソの 4 か国はドイツの 4 か国分割占領と首都ベルリンの分割管理の方針を打ち出す。また、11 月にはニュルンベルグ裁判が始まりナチス＝ドイツの戦犯追及が開始される。その後、東西冷戦が深刻になり、1949 年ドイツは東西に分割され分断国家となる。

●受賞 (1949 年第 21 回アカデミー賞)

4 部門にノミネートされ原案賞を受賞

■見どころ

●戦争の悲劇は大人だけでなく子供にも起きていた

- ・悲惨な体験ゆえに身についてしまった哀しい習性と行動
- ・子供も生き延びるために必死だった

●感動的なラストシーン

- ・母との対面とスティーブとの別れ
- ・ハリウッド映画らしいハッピーエンド

プリティ・ウーマン (Pretty Woman)

観賞日 2025 年 8 月 11 日 上映時間 119 分

【参加者：21 名】

【概要】

制作 1990 年 アメリカ

監督 ゲイリー・マーシャル

脚本 J・F・ロートン

音楽 ジェームズ・ニュートン・ハワード

撮影 チャールズ・ミンスキー

出演 リチャード・ギア (エドワード・ルイス)、ジュリア・ロバーツ (ヴィヴィアン・ワード)
ラルフ・ベラミー (ジェームズ・モース)



【あらすじ】

企業買収を業とするやり手の実業家エドワード・ルイス。彼は不馴れなビバリー・ヒルズで道に迷い、偶然そこに居合わせた若い娼婦のヴィヴィアンに道案内を頼む。ホテルに着いたエドワードはヴィヴィアンを自分の部屋に誘い、ヴィヴィアンを 6 日間・3000 ドルで雇う。エドワードが現在、手掛けているビジネスはモース社の買収計画。その晩開かれたモース社とのディナーにエドワードはヴィヴィアンを同席させる。見違えるようなシックないでたちのヴィヴィアンに魅了されるエドワード。しかし、交渉は決裂し、モース社も株の応戦買いに走る。ヴィヴィアンと付き合ううちに仕事人間のエドワードの考えが徐々に変わり始め、そんなエドワードにヴィヴィアンも魅かれる。モース社との 2 回目の交渉。エドワードは買収ではなく、提携で話をまとめる。6 日間の契約期間が満了し、二人は別れることに。しかし、ヴィヴィアンのことが忘れられないエドワードはある重大な決意を告げるためにヴィヴィアンを訪ねる。

夢を叶える街、ハリウッドを舞台にした、シンデレラストーリー。ラブコメの代表作。

【解説】

■ポイント

●ジュリア・ロバーツ (1967 年～)

- ・アメリカ、ジョージア州出身。両親が演劇学校を経営していた関係で演劇の道に進む。「ブラッド・レッド 復讐の銃弾」(1986 年)で映画デビュー。「マグノリアの花たち」(1989 年)で注目を浴び、本作で地位を確立する。
- ・その後も「ペリカン文書」(1993 年)、「ノッチングヒルの恋人」(1999 年)でヒットをとばし、「エリン・ブロコビッチ」で念願のアカデミー賞主演女優賞を獲得。
- ・プライベートではトム・ハンクスと長年の友人。宗教はヒンドゥー教に改宗している。ハリウッド女優の中でも最もギャラの高い女優の一人。



■見どころ

●仕事人間のエドワードを変えさせたものは？

●テーマ曲・「オー・プリティ・ウーマン」

ロイ・オービソンが 1964 年に発表した曲

20 世紀にアメリカのテレビやラジオで最もオンエアされた 100 曲：第 26 位

暗くなるまで待って (Wait Until Dark)

観賞日 2025 年 8 月 25 日 上映時間 107 分

【参加者：48 名】

【概要】

制作 1967 年 アメリカ

監督 テレンス・ヤング

原作 フレデリック・ノット (『暗くなるまで待って』)

脚本 ロバート・ハワード・カリントン

ジェーン・ハワード・カリントン

音楽 ヘンリー・マンシーニ

撮影 チャールズ・ラング

出演 オードリー・ヘップバーン (スージー・ヘンドリクス)、アラン・アーキン (ハリー・ロート)
リチャード・クレンナ (マイク・トールマン)、 エフレム・ジンバリスト・Jr (サム)



【あらすじ】

写真家のサム・ヘンドリクスは空港で見知らぬ若い女性から突然、人形を預けられる。しかし、その人形には麻薬が隠されていた。そうとは知らないサムは人形を家に持ち帰る。ある日、麻薬犯罪組織の一味がサムの自宅を探しあててやって来る。サムの妻スージーは交通事故が原因で盲目になっていた。一味の3人(ロート、マイク、カリノー)はスージーが盲目であることをいいことに、サムの自宅の前に車を止め一芝居うつ。3人が役割を決め、交互にスージーの前に現れ、人形のありかを聞き出そうという魂胆だ。しかし、スージーも上の階に住む少女グロリアの助けを借りながら、盲目者特有の勘の鋭さを発揮して3人の正体に気づく。やがて3人は仲間割れを起こし、残ったロートがスージーに襲い掛かる。スージーも明かりを消し、あたりを暗闇にしてロートに対抗するが・・・。

007シリーズで大当たりをとったテレンス・ヤングがオードリー・ヘップバーンと組んだ、サスペンス・スリラーの傑作。

【解説】

■ポイント

●テレンス・ヤング (1915 年～1994 年)

上海の英国租界で生まれる。その後、イギリスに戻りケンブリッジ大学を卒業。卒業後、脚本家、監督になり、1953 年の「赤いベレー」でハリウッドデビュー。

1962

年、007 の監督に起用され世界的ヒットを記録。(007 シリーズは初期の3作品「ドクター・ノオ」「ロシアより愛をこめて」「サンダーボール作戦」を監督)。その後、本作、「クリスマスツリー」(1968 年)、「夜の訪問者」(1970 年)、「レッド・サン」(1972 年) など娯楽作品に才能を発揮。

●受賞 (1983 年第 55 回アカデミー賞)

2 部門にノミネートされ、1 部門を受賞 (脚本賞)

■見どころ

●ハラハラドキドキのラストシーン

●A・ヘップバーン迫真の盲目役

●不安をあおるヘンリー・マンシーニの音楽。



私を野球に連れてって (Take Me Out to the Ball Game)

観賞日 2025年9月8日 上映時間 93分

【参加者：41名】

【概要】

制作 1949年 アメリカ
監督 バスビー・バークレー
脚本 ハリー・トゥーシェント、ジョージ・ウェルズ
ジーン・ケリー、スタンリー・ドーネン
音楽 アドルフ・ドイチュ
撮影 ジョージ・J・フォルシー
出演 フランク・シナトラ (デニス・ライアン)、ジーン・ケリー (エディ・オブライエン)
ジュール・マンシン (ナット・ゴールドバーグ)
エスター・ウィリアムズ (K・C・ヒギンズ)
ベティ・ギャレット (シャーリー・デルウィン)



【あらすじ】

MLBのワールドチャンピオンチーム・ウルブスのスター選手デニス・ライアンとエディ・オブライエン。二人はシーズンオフにはコンビで舞台に出演している。春になりチームに戻った二人はチームのオーナーが変わるというニュースを耳にする。新しいオーナーのヒギンズは何と独身の美人女性であった。二人は早速ヒギンズにアプローチをかける。シーズンが始まりウルブスは順調に勝ち星を重ねる。デニスにはシャーリーンという追っかけ女性も現れる。優勝争いのさなか、エディに好条件の舞台出演の話が舞い込む。しかし、昼は野球、夜は舞台稽古で疲労が蓄積、エディの不信が響いてウルブスの成績は急降下してしまう。果たして、ウルブスは本来の活気を取り戻せるのか？

野球をモチーフにしたミュージカルコメディ映画。

【解説】

■ポイント

●Take me out to the ball game

1908年に作曲され野球ファンには馴染みの曲になっている。MLBの試合では7回終了時に体をほぐすために立ち上がって歌われている。

●アイルランド系移民

1845年から49年にかけて起きたジャガイモ飢饉で数百万人のカトリック教徒がアメリカ、カナダに移住した。アイルランド系の姓には「O」のつくものが多い(例：オブライエン、オニール、オハラ・・・)。本件でオブライエン役のジーン・ケリーもアイルランド系移民の子孫。

●踊る大紐育

本作の4か月後に公開された大ヒットミュージカル映画「踊る大紐育」の主要スタッフ、キャストは本作と同様

■見どころ

●ミュージカル映画の王様・ジーン・ケリーの歌とダンス

●エスター・ウィリアムズの見事な水泳

ウィリアムズは競泳で世界記録を記録した選手。その後、映画界入り。

東京物語(Tokyo Story)

観賞日 2025 年 9 月 22 日 上映時間 136 分

【参加者：36 名】

【概要】

制作 1953 年 (松竹)

監督 小津安二郎

脚本 野田高梧

音楽 斎藤高順

撮影 厚田雄春

出演 笠智衆 (平山周吉)、東山千栄子 (とみ)、原節子 (紀子)、杉村春子 (金子志げ)

山村聡 (平山幸一)、香川京子 (京子)、大坂志郎 (平山敬三)、三宅邦子 (文子)

中村伸郎 (金子庫造) 東野英治郎 (沼田三平)



【あらすじ】

尾道に住む平山周吉、とみの老夫婦は子供たちに会うために久し振りに東京に出かける。子供は開業医の長男・幸一と美容院を営む長女の志げ、それと戦死した次男昌二の嫁の紀子。しかし、幸一も志げも個人営業で仕事にかまけて親の面倒が見られない。結局、血のつながらない紀子が東京見物のお供をすることになる。翌日は志げの発案で老夫婦は熱海観光に出かける。しかし、熱海は騒々しく田舎育ちの老夫婦は馴染めずに一晩で帰ってくる。次の日は、周吉は旧友相手に痛飲、とみは紀子の所で心ばかりのもてなしを受ける。帰りは夜行の急行列車。車中、とみが体調を崩し大阪に住む三男、敬三の世話になる。そして、尾道に戻ってとみの容体が急変。今度は子供たちが尾道にかけつける。しかし、ここでも子供たちは多忙を理由に葬儀が終わるとそそくさと帰ってしまう。一人残った紀子が周吉に語ったことは・・・。

公開当時を知るうえで貴重な風俗映画。小津ワールドの頂点と世評の高い作品。

【解説】

■ポイント

●原節子 (1920 年～2015 年)

- ・横浜市出身。義兄の熊谷久虎監督の紹介で映画界入り。1937 年、日独合作映画「新しい土」のヒロインに抜擢され女優としての地位を確立。
- ・戦後は、吉村公三郎、木下恵介、今井正、小津安二郎等大監督の代表作でヒロインを演じ日本映画界を代表する女優となる。特に小津作品には欠かせない存在となるが、1962 年に突然引退。「永遠の処女」「日本のグreta・ガルボ」等と呼ばれた。



●評価

- ・キネマ旬報：オールタイムベスト映画・日本映画編 (2009 年)：第 1 位
- ・文藝春秋：大アンケートによる日本映画ベスト 150 (1989 年)：第 2 位
- ・英国映画協会：映画監督が選ぶ映画ベスト 10 (2012 年)：第 1 位

■見どころ

●当時 (1950 年頃) の時代

- ・地方対都会：過疎化する地方と過密化する都会
- ・世代間の対立：高齢化する親世代と仕事に忙殺される子世代。核家族化の進行。
親離れと子離れ
- ・まだ残る戦争の傷跡：子供の戦死、戦争未亡人、戦友会

「浮雲俳句会」

抄録 NO.69

代表 小俣 悦男

浮雲俳句会創立 20 周年記念俳句集(1 名 10 句)を“わ”の会のご理解ご協力をいただき、8 月の会報に掲載され足跡を形で残すことが出来ました。また、9 月 28 日に 20 周年記念行事の第一部として、金沢区内に因んだテーマ(ご当地俳句)で記念句会を開催。記念行事に参加いただいた“わ”の会の鶴岡代表、星野・松崎両副代表には、記念句会での選句に参加いただきました。記念句会終了後第二部として、記念懇親会を開催。記念句会の優秀作品「天」・「地」・「人」・「佳作」2 句の 5 句を表彰するなど終始和やかな懇親会となり、記憶に残る記念行事を完結することが出来ました。月々の「月例会」も熱心に活発におこなわれており今後の展開に明るい期待をもっています。

194 回句会 令和 7 年 4 月 27 日

会員選の特選句と自評

疏水いま点描のごと花の雨

二祥

疏水と言えば琵琶湖疎水、この疏水も分水の一つ。南禅寺(若王子神社)と銀閣寺を結ぶ約 1.8Km の小道いわゆる「哲学の小道」の脇にある。春は 300 本を超える京都の桜の名所です。今日は折からの春雨の中、散る桜で疏水はまるで桜の点描画の様に見えた。正に花筏だと得心、春の名残りに感じ入った。

窓越しの唯一片の花ひらり

二点

朝食後リビングから窓の外を眺めていると、一枚の桜の花びらが右上から左下に揺れ落ちていくのが見えた。右側の 50~60 メートル程離れたところにソメイヨシノがあり、その木のものと思います。花びらが散る光景は沢山見てきましたが、額縁の様な窓枠の中でたった一枚の花びらがひらひらと揺れ落ちていくのを見て、不思議な感覚になりました。

うららかや老人ホームのわらべ歌

とも女

夫は、大腿骨骨折で入院し、退院した後、リハビリ付きの老人ホームで、デイケアサービスを受けている。ここでは、年に 4 回、家族との面談があり、リハビリ計画の参考にしている。ついこの前も面談の日で、待ち合わせていると、歌声が漏れてきたので、覗いてみると、みんなで輪になって、ボール送りをしながら、懐かしいわらべ歌をうたっていた。皆、笑顔で童心にかえり、スタッフと共に一時を楽しんでいた。見ていたわたしも、うららかな気持ちになった。

どの花も満開の時ありにけり

えいこ

今年は殊のほか寒い日が続き桜の花期が長かった。そのため例年より多くの花に出会うことができた。東京の飛鳥山公園、横浜の根岸森林公園、金沢区の富岡総合公園、宮川、釜利谷公園など。満開には至っていないものもあった。だが、よほどの環境異変がない限り、その時がくればどの花も満開を迎える。それが自然というものだなど、改めて思ったのでした。

195回句会 令和7年5月25日

会員選の特選句と自評

隠田の谷を包みし夏の霧

二祥

隠田とは、中世・近世、隠れて耕作し年貢や租税を納めていない田地のことです。四国の祖谷も隠田集落のひとつ、かずら橋を渡るとそこは平家の落人伝説の祖谷だ。2回目の訪問時、青葉若葉の山深く隠田のある谷を折からの夏の霧が小さな田畑を包み隠している様に見えた。この季節が一番かも知れない。

口五つ巣から落つるな燕の子

重九

今年も又、寺前通りの車庫奥に燕が子育てをしている。5匹の燕の子が口を大きく開けて、親燕が餌を運んで来るのを我先にと待っている。土間に落ちたら死が待っている。落ちたらダメだよ！大人しく待ちなさいと言いたくなる。

初夏や腕(かひな)まぶしき交差点

えいこ

鎌倉駅入口交差点はスクランブル交差点で、待ち時間が長い。最近外国人観光客が圧倒的に増えたな、などと眺めていると突然半袖姿が目飛び込んできた。5月になったばかりだというのに。懐かしいメロディーが脳裏を過った。♪若葉が町に急に萌えだした……。若者がこの上なく眩しい季節の到来である。

傘ぶつけ合つての下校若葉雨

とも女

家の近くの小高い丘の上に、小学校がある。その小学校の近くには、今、青葉若葉が繁っている公園があり、下校の子供達は、その公園の脇道を通って帰る。買い物の帰りには、下校の子供達と出くわすことが多い。一年生も五月頃になると、友達と親しくなり、和気あいあいとおしゃべりしながら歩いている。中には、小雨が降っているのに、きゃあきゃあ叫びながら、傘を振り回してふざけている子もいた。

遠雷や急ぐでもなし老いの道

十九

今は、人生九十年時代だと言われている。おそらく、あと十年もすれば、それが「人生百年の時代」になっているのではないだろうか。私も、既に九十年を生きてきた。今、まさに「急ぐでもなし」の老いの道を、風任せのように歩いている。もう、遠くに雷鳴を聞こうが、夕星が淡く光ろうが、マイペースを崩す気にもならない。それは若者たちには或いは「ふてくされ」と見えるかもしれない。

妻を撮るピントの先に薔薇の花

一柧

数年前のことである、近郊の薔薇園を訪れ色とりどりの薔薇を見て廻った。スマホで妻にピントを合わせ真赤な薔薇を背景にシャッターを切った時の一句

楠若葉ひかり噴き出す千年樹

あきえ

本山の山門近く「千年の森」の楠の大木。新しい葉が噴き出すように、力強く沢山の塊となって、明るい陽光に輝いている様を詠みました。

この軽さ少し遠くへ更衣

重九

腰痛が悪化して歩行が不自由になってきた。さわやかな夏を迎え衣替えをしたら身も心も軽く感じ、ちょっと遠くまで出かけたくなったことよ！

196回句会 令和7年6月22日

会員選の特選句と自評

浴衣着にたわむ老軀を包みをり

とも女

且つて、日本舞踊を習っていた時は、夏の稽古着に浴衣を着ていたが、やめて以来手を通していない。つい最近、一泊旅行で、温泉宿に泊まったら、浴衣が用意されていた。久々に浴衣を着てみた。洋服では、曲がった背中や、たるんだ皺を隠すことはできないが、和服は、老体をすっぽり包んでくれる。なんとなく爽やかな気持ちになった。

核家族パセリ一株繁らせて

祥代

子供たちも巣立ち、元の二人家族となりました。いっぱい食卓を賑わせたものも少量になりました。このところは、パセリ、大葉、そしてバジルも、一株ずつ植えれば十分となりました。そんな日々を詠んでみました。

友逝きぬ禁酒は反故に梅雨入りす 一翁

今年に入って友人の訃報が相次ぎました。こんな反応をした人も多いと思い句にしました。昔話出来る友が減るのは淋しいものです。

天覧の星消え落ちて走馬燈 十九

中学時代から、川上と言う故郷のスターに憧れ、大の巨人ファンであった。あの試合も、テレビですっと見ていた。そのゲームが、あの、まさに奇跡的なゲームセットとなった場面に、躍り上がった記憶も失せない。天覧の試合で、9回の裏に、大好きな4番バッターが、さよならホームランを打つ。しかも、相手投手はエースの村山。恐らく、2度とは起きないまさに奇跡のゲームであろう。その長嶋選手が、帰らぬ人となってしまった。走馬燈のような様々な思い出。

枇杷たわわ独りぼつちの媿かな 重九

私にとって枇杷は好物であるが、苦い思い出もある。やんちゃな小学生の頃、採っていいよの言葉を受けて樹に登り実を取ろうとしたが、枝が折れて地面に叩きつけられ左肘を骨折した。さて、入院中に非同居の子供達に独り住まいの家を売られそうになった老婦人が近所におられる。その家の庭に枇杷の実がたわわに熟している。あの実は一体どうされるのだろうかと気にしながら毎日通るこの頃である。

湖風をあをあとして夏料理 とも女

ドライブ旅行の途中、湖があり、緑の木々に囲まれて絶景だった。湖畔には、美術館やレストランがあった。美術館を見学した後、丁度昼時となり、レストランに入った。青々とした湖から心地よい風が吹いてきて、店自慢の地元野菜の入ったピザは、格別おいしかった。

197回句会 令和7年7月27日

会員選の特選句と自評

やはらかき昭和の風や古団扇 とも女

近頃は、団扇を使うことも減り、家庭内に置いてないのが普通である。特に、最近の猛暑には、団扇は役に立たなくなったからであろう。しかし、花火大会や、盆踊り大会などのイベントでは、団扇を見かける。浴衣を着て、団扇で煽いでいる姿は、情緒があり、日本の夜の風物詩と言える。我が家には、馴染みの薬局で買った小さな団扇が数本ある。他に一本だけ柄が竹製の古団扇があり、出番を待っているようだ。煽いでみると、エアコンや、扇風機の風とは違う柔らかい風が、首筋にあたり気持ちがいい。昔は、この風で夏を過ごしていたのだ。当時の懐かしい思い出が蘇ってくる。

炎昼や托鉢笠の動かざる

栄子

猛暑日の続く暑い日の昼日中。鎌倉駅前には小町通りに向かう人、駅に帰る人が忙しく行き交っていた。そこに一人の托鉢僧が微動だにせず立ち尽くしていた。同じ場所で時折見かける托鉢僧ではあるが、さすがにこの猛暑。胸中は如何にと思うと同時に、「心頭滅却すれば火もまた涼し」の言葉を目の当たりにした思いがした。

夏の雲並ぶ数多のスフィンクス

二点

夏の空は雄大な積乱雲(入道雲ともいう)をよく見かける。先日空を見上げるとエジプトの神殿や、墓の守り神として作られたと言われる人間の顔と、ライオンの体を持ったスフィンクスの様な雲が広がっていた。それもギザの大スフィンクスが、幾重にも並んでいる様であり感激詠んでみました。

喉つるり夏大根のおろし蕎麦

二祥

7月の猛暑の中、東京・上野から谷中界隈を汗まみれで散策した。昼食に気の利いた蕎麦屋に辿り着いた。そこで食べたおろし蕎麦を詠んだ。清涼感もあり、旨かった。「季節感」と「美味しそう!!」を「夏大根」と「喉つるり」の措辞で実感を込めて端的に表現してみた。

198回句会 令和7年8月24日

会員選の特選句と自評

秋海棠ひとへまぶたの地蔵さま

栄子

秋海棠は淡紅色の花をうつむき加減に咲かせる初秋の花。称名寺に行くと必ず立ち止まるのが、塔頭の光明院の門前である。そこにおわす延命地蔵は、切れ長の一重まぶたである。そう言えば野にあるお地蔵様はどれも皆やさしそうな一重まぶただったなと、つくづく想ったのである。

太陽にべール掛けたき秋暑かな

とも女

近年の夏は年々長くなり、然も、厳しい高温となり、ますます地球上の生物が、生きづらくなってきた。しかし、太陽が出なければ、生物は生きられず、地球は死の星と化してしまう。神話に、天照大神が、岩戸にお隠れになって、神々が大騒ぎをしたが、そのとおりである。これも人間がもたらした負の遺産である。何とかして強い太陽光線を防ぐ知恵を絞りださなくては。

ふるまひの杉箸香る盆の膳

二祥

お盆はそれぞれの家族の過ごし方があります。小生のお盆は上京以来50数年間、一家で奈良に帰郷し、両親、兄の家族で16～17人で盆の膳を囲んだものです。両親は亡く、難しくなりましたが、その際の吉野の杉箸は盆の匂として、今でも心に強く残っています。(割り箸の発祥は奈良・吉野で、シェアは約70%とも言われます。)

蝗捕り昭和貧しくたくましく

とも女

小学校の中高学年は、岡崎市の外れに疎開しており、家の近くには、田んぼが広がっていた。当時は、戦後の食糧難で皆苦勞していた。子ども達は、紙袋に竹筒を押し込み、田んぼに入って蝗捕りをした。農薬を使わなかった時代だったので、面白いように捕まえることができた。家で簡単に調理して食べたものである。タンパク質やカルシウムを補うことができたと思う。

日の沈む色に薄らぐ残暑かな

十九

日の沈む西空の色彩には、肥後の田舎に居た子供時代から心惹かれるものがあった。勿論、今もその気持ちは変わらない。日の終わりというよりも、何かしら未来への夢を育むかのような奥深いものを感じさせるものがある。この句では、「日の沈む色に」の、「に」が苦心の・工夫の用語であったと自賛気味に理解している。今年は、異常なまでの厳しい残暑が続いている。その残暑も、日没の西空の色の移ろいに合わせるかのように和らいでいくのが感じられるのだ。

カンナ燃ゆペリー来航せし浦に

栄子

カンナの花は赤や黄色の鮮やかな色を持ち、花期も夏から初冬までとかなり長く、圧倒的なエネルギーを感じさせる。散歩の途中に黄色のカンナを目にしたのだが、かつて40年近くも住んでいた横須賀市の海の見える丘に咲いていたカンナが重なった。久里浜にはペリー上陸記念碑がある。

満々と屋根越え出づる盆の月

祥代

そのまんまの写生句です。庭に出て夜空を眺めていますと、盆の月が屋根を越え満々と美しく輝いていました。その月を愛でて詠んでみました。

199回句会『20周年記念句会』 令和7年9月28日

会員選の優秀句と自評

『天』賞

かねさわの道標(しるし)探すや赤とんぼ 一翁

以前、古文書を読む会でかねさわ道を3回に分けて歩き、道標がどうなっているか調べて本にしたことがあります。都市化が進むと古いものは大切にされないなので、現況を憂いて作った句です。

『 地 』 賞

秋澄みぬ八景探す能見堂

二点

私の住まいから徒歩 5 分程の所にある能見堂緑地は散歩コースのひとつであり、能見堂跡地にも登ることができます。「金沢八景」は明からの渡来僧が、能見堂から見える金沢八ヶ所の景勝を、漢詩に詠んだことが由来とされています。空気も音も澄み遠くまでよく見通せるこの季節ですが、今は見る事が出来ないと思いつつも、八景方向を探るように眺めてしまいます。

『 人 』 賞

三山の紅葉に映ゆる浄土かな

十九

称名寺には、やはり、ずっと思い入れがあり、これまでも池や橋など何句か持えた記憶がある。浄土庭園も以前浮雲例会に投句している。称名寺全体が、四季を通じて、心にかかる風景であると言えるのではないか。以前は、称名寺へ行ったら、三山を一回り二回りするのは、なんでもなかったが、今は、登ることもしなくなった。しかし、その三山の紅葉に包まれた浄土庭園は、やはり、心に沁みるものがある。今、そのことが、ずっと心にかかっている老いの日を過ごしながら、その、行く先を句作りすることもしばしばで、これもその一句である。

『 佳 作 』

秋風や巖にかへれる磨崖仏

栄子

これは鼻欠け地蔵を詠んだものです。私は金沢区に初めて就職したときに、このお地蔵さまの存在を知りました。その時すでに鼻も耳も頭も欠けていたように思います。あれから半世紀以上も経ちました。江戸時代からずっと旅人や地の人を守り、また護られてきた鼻欠け地蔵。今やその姿かたちは全く見えなくなりただの巖となってしまったが、仏の魂は消えることはないのではないかと思ったのでした。

『 佳 作 』

秋あかね舳先触れゆく野島沖

和女

“とんぼ”を見る機会は野山や里に多いと思っていました。まさか、野島沖あたりで赤とんぼ(秋あかね)を見かけるとは、想像もつきません。休む場所などない海の上、小さな翅はどこを目指して飛んでいるのでしょうか。

パソコンを使いこなす会 実施報告【22】

2025年7月～9月

2025年度 第7回分科会

- 日時：2025年7月8日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：WORD 講座 ― 図形 ―
 1. 図形の挿入
 2. ワードアートの作成
 3. ドロップキャップの挿入
 4. 箇条書きの設定
 5. 図形、画像の挿入・編集
 6. ページ背景の設定
- 参加者：15名 ＋ Z2名

2025年度 第8回分科会

- 日時：7月15日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：PowerPoint 講座 ― スライドショー作成（初心者向） ―
 1. PowerPoint を起動する
 2. スライドのサイズとテーマを選択する
 3. 構成を検討し、スライドを追加する
 4. 文字や表、写真を挿入する
 5. 作成した資料は、必ず保存する
 - 6. 完成したらスライドショーで確認する
- 参加者：14名 ＋ Z1名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2025年7月15日_テキスト



この QR コードをスマホの
アプリで読み込むと、テキ
ストを見ることが出来ま

2025年度 第9回分科会

➤ 日時：8月5日（火）9：30～12：00

➤ 場所：八景コミュニティハウス

➤ 内容：WORD 講座 － 書式設定 －

1. フォント・文字サイズを変更する
2. 文字に効果を付ける
3. 文字飾りを付ける
4. 文字の色を変更する
5. 文字揃えを変更する
6. インデントを設定する
7. 箇条書きを設定する
8. 段落番号を設定する
9. フォントグループ設定
10. 地図を挿入する
11. レイアウト設定

➤ 参加者：18名 ＋ Z3名

➤ テキスト：パソコンを使いこなす会_2025年8月5日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

2025年度 第10回分科会

➤ 日時：8月19日（火）9：30～12：00

➤ 場所：八景コミュニティハウス

➤ 内容：WORD 講座 － ワードの図形でお絵描き －

1. 用紙サイズを変更する
2. スイカ（楕円形）を描く
3. スイカの縞模様と種やツルを描く
4. カットされたスイカを描く
5. 図全体をグループ化する
6. ハガキまたはうちわに貼り付ける

➤ 参加者：17名 ＋ Z2名

2025年度 第 11 回分科会

- 日時：9月2日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：Internet 講座 － Google マップ －
 1. マイマップを開く
 2. 出発地を検索する
 3. 目的地を追加
 4. マーカーの編集
 5. ルートを作成する
 6. 目的地の情報を、HP から調べる
 7. 地図の名称を入力
 8. スマホと共有
- 参加者：18名 ＋ Z2名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2025年9月2日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

2025年度 第 12 回分科会

- 日時：9月16日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：Internet 講座 －Google グループ－
 1. Google グループの使い方
 2. パソコンを使いこなす会の Google グループ
 3. Google グループのメンバーリスト（現状）
 4. メンバー用名簿
 5. 招待状の送付
 6. メンバーからの返信
 7. メンバーからの質問
 8. 回答
 9. Google アカウントのプロフィール写真の変更
 10. Windows 11 の Tips
- 参加者：14名 ＋ Z1名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2025年9月16日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

行事予定

2025年12月～2026年2月の予定

注：表中の「CC」は「地区センター」の略

	12月	1月	2月
学習会	なし	なし	2月14日(土) 9:30～12:30 開催場所：能見台 CC ＜公開歴史講座＞ テーマ：【中世の甲冑】中世前期と後期比較を中心にして、 有職故実研究家 近藤 好和 氏
寺社を巡る会	12月4日(木) 10:00 集合場所：京急汐入駅 テーマ：横須賀中央地区の社寺を巡る 訪問先：京急汐入駅(集合)～諏訪大神社～良長院～徳寿院(遠望)～中里神社～青少年会館(トイレ)～龍本寺(昇堂拝観)～諏訪神社(解散)	1月9日(金) 10:00 集合場所：金沢八景駅改札 テーマ：六浦の古刹住職のお話を聞く 訪問先：金沢八景駅(集合)～瀬戸町やぐら跡～六浦交番～六浦歩道橋～上行寺(住職のお話、本堂拝観)～嶺松寺跡～金沢八景駅(解散)	2月13日(金) 10:00 集合場所：金沢公会堂多目的室 テーマ：座学 DVD 鑑賞 「国宝へようこそ」 ・第7集 西本願寺 ・第8集 鳥獣戯画
古文書を読む会	12月11日(木) 10時～12時 場所：金沢区民活動センター会議室 テーマ：古事記と日本書紀	1月8日(木) 10時～12時 場所：金沢公会堂第2会議室 テーマ：出雲王朝は存在したか	2月12日(木) 10時～12時 場所：未定 テーマ：江戸時代の大災害
ふれあいの道歩こう会	12月3日(水) 予備日5日(金) 梅ヶ瀬溪谷 千葉県 市原市	1月15日(木) 予備日16日(金) 高川山とリニア基地 山梨県 大月市	2月19日(木) 予備日20日(金) 官ノ倉山(344m) 埼玉県 小川町
懐かしの映画を観る会	12月8日(月) 金沢地区 CC 12:15～最高の人生の見つけ方 12月22日(月) 金沢 CC 12:15～運び屋	1月12日(月) 金沢 CC 12:15～スタンド・バイ・ミー 1月26日(月) 金沢 CC 12:15～アメリカン・グラフィティ	2月9日(月) 金沢 CC 12:15～パッチ・アダムス 2月23日(月) 金沢 CC 12:15～湯を沸かすほどの熱い愛
浮雲俳句会	12月21日(日) 10:00～ 第202回句会 会場：晴嵐かなざわ 課題：当季雑詠3句、兼題1句	1月25日(日) 10:00～ 第203回句会 会場：晴嵐かなざわ 課題：当季雑詠3句、兼題1句	2月22日(日) 10:00～ 第204回句会 会場：晴嵐かなざわ 課題：当季雑詠3句、兼題1句
パソコンを使いこなす会	12月2日(火) 八景コミハ スマホ講座 一年賀状作成ー 12月16日(火) 八景コミハ EXCEL 講座 ー印刷・関数ー 9:30～12:00	1月13日(火) 八景コミハ スマホ講座 ー便利技ー 1月20日(火) 八景コミハ EXCEL 講座 ー便利ワザ・上達ワザー 9:30～12:00	2月3日(火) 八景コミハ Internet 講座 ーCanva チラシ作成ー 2月17日(火) 八景コミハ Windows 講座 ーフォントの設定ー 9:30～12:00

連絡先

- ・学習会 045-785-6151(鶴岡) ・寺社を巡る会 090-1840-0916(横山) ・古文書を読む会 045-784-4900(真田)
- ・ふれあいの道歩こう会 080-6755-1473(江口) ・懐かしの映画を観る会 045-785-6151(鶴岡)
- ・浮雲俳句会 090-4056-2454(小俣) ・パソコンを使いこなす会 090-9375-9459(橘)

編集後記 秋も深まり、温かい緑茶やコーヒーが美味しいなあと感じるようになった。 最近隙間時間に YouTube を見ていると、だまし絵にお目にかかることがある。目線の向け方や見る方向を変えると全く違うものに見えるのがおもしろいな…と思う。また、旅先などで犬岩、ライオン岩などと名付けられた岩などの自然物も(犬よりリスに見えるなあ。ねずみかな…)という具合に色々な見え方を楽しんでいる。見えているもの、さらに出来事などの感じ方も自分の解釈した結果なので人それぞれの経験や知識、心理状態によって様々だという。 これから先、柔軟な考え方や行動ができるように、この秋の夜長に「初めの一步」として今まで手に取らなかったジャンルの本を何冊か読んでみようかなと思っている。 【福嶋 恵美 記】	発行日	2025年11月8日
	発行月	年4回発行(2、5、8、11月)
	発行者	金沢区生涯学習“わ”の会
	編集長	星野 六夫
	編集委員	浜辺 隆文 吉武 惇二 熊谷 信雄 橋本 啓治 中村 猛次 橘 博章 福嶋 恵美